

里山をひな人形で華やかに



この発端は昨年9月に里山連合の懇親会。松本会長から高滝神社でのひな祭りの提案があったことで、その真意はイルミネーションの後から桜菜の花までのあいだにこの里山に沢山のひな人形を飾る催しはないかというところからの発想でした。

ところがその場にいた勝浦市でひな祭りの企画に関わった現市原市議会議員の方が12月半ばにある人間に相談を持ち掛けたところから事は動き始めました。相談された者のフックワークは軽々、すぐに神社に相談に行き、1月半ばに神社の総代会を経営主として駆け回り、スポンサーを募集し、勝浦市の協力と市原市の後援を取り付け、ポスターやチラシを作製して配布し、メディアに取材の要請をしました。勝浦にひな人形を取りに行き、毛氈にあたる赤いカーペットの準備をし、リハーサルに必要なメンバーをSNSで募集して35人のスタッフを確保し、2月1日にリハーサルを行いました。

女性スタッフの活躍もあり、リハーサルでは90分かかった飾り付けが本番では30〜40分でできるようになりました。毛氈を替えるカーペットも段々つ折り目をつけて作り、飾る際には段々分けて置いていけばいいようにしました。ひな人形その他は随分前にクリアランスを入れて判別をやすくし、時間のロスを減らしました。これにより開催期間



（征矢里山通信員）

そして里山に春



加茂里山通信

令和7年
春号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

ひとりの人間の思い付きから事は始まり、4日間で6000人が集まるイベントになりました。新聞等で報道されたように「南いちばら」よりビッグなひな祭りーは、短期間の準備にもかかわらず、天候にも恵まれて多くの人が訪れ、来た人たちの多くが満足するような大成功に終わりました。



中毎日の短時間の飾り付け、もつと短時間でのかずけが可能となりました。

今回のイベントを振り返ると、対応したスタッフのおもてなしへの多くの感謝の言葉がありました。

ひとりの人間の発想、裏に徹して様々な準備をして駆け回り、スポンサーを募集し、勝浦市の協力と市原市の後援を取り付け、ポスターやチラシを作製して配布し、メディアに取材の要請をしました。勝浦にひな人形を取りに行き、毛氈にあたる赤いカーペットの準備をし、リハーサルに必要なメンバーをSNSで募集して35人のスタッフを確保し、2月1日にリハーサルを行いました。

二十歳の集い

今年の二十歳の集いは、対象者22人に対して19名の参加となりました。実行委員会の思いやりにあふれた運営と、恩師や家族の祝福の中、加茂公民館の体育館が少し温かくなったような気持ちにさせられます。

会の進行では、卒業アルバムを題材にクイズ方式で各自の思い出を掘り起こすなど、ほのぼのとした時間もありました。



祝 加茂地区 二十歳の集い

また午後の立志式では、7年生が家族や周囲の人たちへの感謝とともに、将来の夢や希望、これからの抱負を壇上で堂々と語りました。



また3月24日（月）には修了式が行われ、今年度の加茂学園の全教育課程が修了しました。来年度、未来を担う生徒たちのさらなる活躍が今から楽しみです。

（遠山里山通信員）



消防わくわく広場
3月1日（日）に、加茂学園グラウンドで消防団加茂支部の皆様による消防わくわく広場が開かれました。たくさんのお客が立ち並んだ前では、火災を想定した煙中体験や消火訓練、地震による地震体験、消防車との触れ合いなど、楽しみながら防災意識を高めるプログラムが行われ、加茂学園の生徒たちと地域の皆様で大いに賑わいました。



2月10日に編集協議を行い、厳正なる抽選をして宝船当選者を選定しました。

事務局より当選者の方々にご連絡をし、2月16日（日）に引き渡し式を行いました。空は曇っていましたが、一大当たり賞3名、「お年玉賞」7名、「超目玉賞」6名の方々は晴れやか笑顔でした。

（征矢里山通信員）

編集後記



このところ南海トラフ地震のことや富士山噴火の降灰のことが数々報じられているので、最新のデータをもとに、本当に近い将来に起こりうることを情報発信したいと思います。そうであるなら来たるべき甚大な災害の被害を最小限にするために備えと訓練が必要で、津波の被害が予測される地域では避難訓練が行われているところもあります。この辺では電気が止まる事は想定されても水が来ないことはあまり考えません。しかし地震変動があれば新井浄水場から来る水道管の破断等考えられ、その時は止まります。田舎にいては何となくとみな考えますが、やはり備えと訓練は必要ではないかと思えます。

（征矢里山通信員）

愛車のある幸せ暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
さわやかな季節にバス釣りしよう
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

次回7月20日発行予定です。
情報提供 取材依頼はお近くの通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436（22）4305 担当 霜崎
Eメール tsap@tsai.or.jp



こつもと紀行

消防局と町の高訓練

吉沢の国の指定文化財になっている鳳来寺観音堂で、市原市の消防局・南総署・加茂分署と地元消防団合同で消火訓練が行われました。市内では文化財の消防訓練は各所で行われていますが、署と消防団との合同訓練は初めての試みと聞きました。

消防局では、局職員と消防団員の合同訓練で、お互いの顔を見え関係づくりを進めたい。」と、合同訓練の狙いを語ります。

たしかに東日本、能登と大きな災害が続く。岩手県大船渡では大きな山林火災が発生し、地元でも国土地先で半年にわたって県道が封鎖されるという土砂崩落の災害もありました。

そうした災害発生時に、最前線に立つ消防職員と消防団員が顔の見える関係で連携が取れることは望ましいこととです。こうした日々の訓練が役に立たないような、災害の無い平穏が良いに決まっていますが、その時準備える訓練に感謝します。

（大曾根千早山通信員）

市原市の加茂地区にかなる事業

有喜対策の強化・交付金の増額とキョンが新規対象に。

今年度からこれまで問題視されてきたキョンが有害獣として捕獲対象になり、イノシシやシカの捕獲交付金も大幅に増額されました。町会単位で取り組めば大きな収入となります。やる気の奮起と町会の活性化や地域振興までを見込み、思い切った予算が組まれています。具体的に次のようになります。

イノシシ	シカ	成獣	幼獣	キョン
成獣 9000円 幼獣 1500円	成獣 9000円 幼獣 1500円	成獣 9000円 幼獣 1500円	成獣 9000円 幼獣 1500円	成獣 9000円 幼獣 1500円

キョン 7000円

チバニアンガイダンス施設整備：令和9年の開業に向けて工事継続

チバニンの施設等に関して整備案計画に基づき、令和9年度の併用開始に向けてガイダンス施設等の整備を行います。令和7年度においては、橋梁や見学施設等の土木工事、展示の実施設設計及び制作を行う等、見学環境の整備を進めます。

小湊鐵道安全輸送対策支援：牛久以南の補助金増額

これまでの調査により、小湊鐵道の観光資源としての価値及び経済効果により、市原市・観光面に大きく寄与していることを把握しました。

令和7年度の支援については、特に近年災害の影響を大きく受けている牛久以南に対する安全投資を加速するため、時限的に安全投資に関わる支援を拡充します。

（大曾根千早山通信員）



草団子

お彼岸には草団子の準備です。まきは米をいいて水気をきり、乾かします（二日くらい）。よく乾いた米を粉にひく。あんこの準備、小豆を柔らかく煮てザルでこし皮を除きます。さらし袋で絞ったものを厚手の鍋に入れ砂糖を加え練り上げます（こしあん）。ヨモギはまだ小さいので日当たり良い場所を探して収穫します。こみを除いてよく洗い、重曹を入れて茹でます。よく茹でたら水に取り冷まして絞る。当日の作業、大きな飯台に米の粉を入れお湯を加えながらこねる。蒸し器にふかし布を敷いてこねた生地を、握りつつ入れる。蓋をしてふかす。蒸しあがる分前くらいにヨモギをのせて温める。

（大曾根千早山通信員）



春の先取り

こんなに早く暖かさを感じる事が出来る事にびっくり。どこに行っても、明るく芽吹く光景が目に入る。月崎のクオオドの森の入口から施設に行くまでの道には、川津桜がきれいに咲いている。散策をするのもよし、ランニングをするのもよし。数年前であったなら、クオオドの森の施設内では、この時期としては加茂漬けの講習会などが行われていた。その頃ははちよと寒いかなと思っただけだった。寒いと言えは、雪が降れば上がれない万田野地区での水仙の植付け作業、牛久MBCのメンバーの協力のもと、数年の作業できれいな水仙が咲き始めている。黄色い水仙の花がこれから咲き始める。この時期の先取りとして、写真パシリ。

（矢代里山通信員）

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

安心・解体工事のクドウ商店

相談・見積り無料！

空き家・倉庫・ブロック塀
樹木伐採・残置物の撤去

お気軽にお電話ください！
TEL 0436-98-3903

市原市五井中央第1-8-4 (株) 湘心倶楽部 千葉県知事 (登-2) 1967号



市原商工会議所 ニュース

湖の夜にイルミネーション

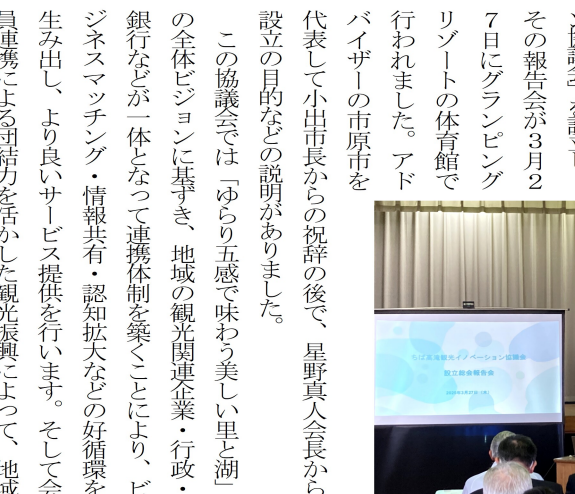
3月1日（土）、高滝湖畔にて市原YEG 市原商工会議所青年部 主催による「高滝湖畔夜祭り」が開催されました。高滝神社と湖畔美術館を舞台に、地域の魅力を発信し、市原の文化や歴史に触れていた。機会を提供することを目的として企画されたこのイベントには、多くの来賓が訪れました。

参加者は提灯を手に会場内を練り歩きながら、スタンブラーやマルシェで提供される美味しい料理や雑貨を堪能しました。会場は夕暮れ時から次第に提灯の灯りに包まれ、幻想的な雰囲気を出し、1500名以上の来場者が集まり、提灯を手に歩く姿はまるで一つの大きな光の流れのようでした。

イベントのフィナーレには、星空の下で多くのランタンが空に舞い上がり、提灯とランタンの光が交差し、美しい空間を作り出しました。来場者はその光景に魅了され、会場内の盛り上がりはピクに達しました。

市原YEGとして初めての主催イベントでしたが、地域の皆さまと一緒に作り上げたこの「高滝湖畔夜祭り」は、大成功を収めることができました。今後も地域活性化を目指し、様々な企画を通じて市原の魅力を広げていきたいと考えています。

（深山山通信員）



高滝湖畔夜祭り

協議会設立、活動始まる

高滝は地元の者からするとコンビニが2件あり、スタンドと郵便局、そして診療所と歯科医院、飲食店、宿泊施設、湖とボート乗り場、美術館があり、少し範囲を広げればどうの国がありコンビニがさらに2つ増え歯科医院も一つ増え、高速のインターとバスターミナルがあり、田舎にしてはとても便利で魅力的なところとです。さらに外からの視点では里山の自然の中に動物園、宿泊施設、神社、運動公園、音楽堂、釣り、飲食、観光農園等が点在し、観光誘致のポテンシャルが高いと映ります。

また、この何年かこの高滝を中心とする地域で活動してきた人たちが企業連携の協議を進めてきました。これをさらに発展させ「ちば高滝観光イノベーション協議会」を設立し、その報告会が3月27日にグランピングリゾートの体育館で行われました。アドバイザーの市原市を代表して小出市長からの祝辞の後で、星野真人会長から設立の目的などの説明がありました。

この協議会では「ゆらり五感で味わう美しい里と湖」の全体ビジョンに基づき、地域の観光関連企業・行政・銀行などが一体となって連携体制を築くことにより、ビジネスマッチング・情報共有・認知拡大などの好循環を生み出し、より良いサービス提供を行います。そして会員連携による団結力を活かした観光振興によって、地域の魅力を最大限に活かした事業を推進し、地域経済の活性化を促そうとするものです。

これからの展開と活躍に期待しましょう。

（征矢里山通信員）



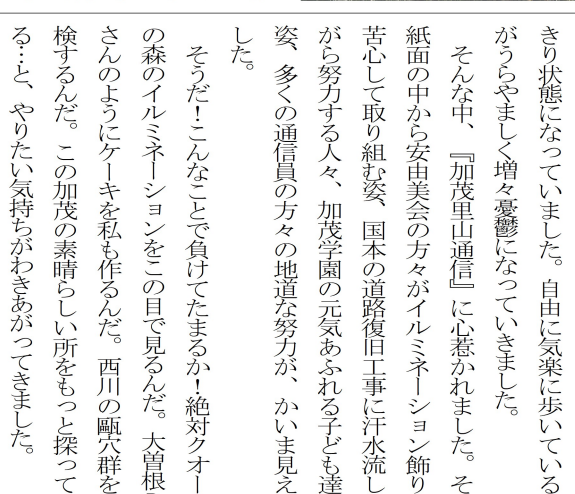
読者の皆様から

新年号で募集しました「宝船プレゼント」には多くの応募をいただき、ありがとうございます。この応募ハガキには「意見・感想を添えていただくようになっている」と、読者の皆様からの生の声をいただく年に一度の機会となっています。これまで様々な意見等をいただき編集等に反映させてきました。

今回、縦書き文章のみに漢数字ではなく算用数字を使うのが、どの以前にもいただいた「意見」がありました。これも以前お話ししたとですが、文章上日本語としての表記、たとえば「一月や七五三」などは漢数字を用いる必要がありますが、数意味する場合「二二三」と表記するよりは「213」と表記したほうが明確になります。算用数字は画像として捉えることができ、見た瞬間に理解できます。このような理由で用いているので、多少違和感のある方もいらっしゃるかもしれませんがご理解いただきありがとうございます。

「意見」感想には私たちがいろいろな取り組みをされている方たちへの熱いエールがあり、元気をもらっています。今回のハガキの中から2点、紹介させていただきます。私たちの著書「言葉は、遠慮して削りかとも考えましたが、書いてくれた方に敬意を表して全文としました。また、お前は載せませんので掲載をお許し願いたいと思います。長い時間をかけてすばらしいイルミネーションを飾り付けてくれた安由美会の方々、国本の道路復旧に励まれた方々、加茂学園の生徒の皆さん、そして3年間にわたる加茂学園の生徒さんたちの様子を温かく見守り文章にしてください、この春に移動させていただきます。

（征矢里山通信員）



加茂学園

加茂学園は2月から3月中旬が時期ですが、加茂菜漬けのおいしさが大分広まってきたようで、加茂菜漬けはまだからの催促が来るようになりました。でも加茂菜もその年の天候で出来不出来がありますので、幻の加茂菜漬けと言われていました。今年は高滝神社のひな祭りのイベントでも売られていました。4月になればごみ、ワラビが出始めます。イノシシやキョンに負けないようにマムシには十分注意して、里山の恵みに感謝して日々暮らしていきたいものです。

（大曾根R里山通信員）

HONDA The Power of Dreams

— ホンダの夢 市原へ —

Honda Cars 市原

■ 五井中央店 ☎ 0436-24-1111(代)
■ 馬立店 ☎ 0436-95-5050(代)

HP: <https://www.hondacars-ichihara.co.jp/>

いつでも田植え体験

「田んぼを知らない子供たちに忘れられない思い出」と題し、子供たちの田植え体験を企画しています。当日は「加茂米」のおにぎりの提供もあります。タケノコや旬の野菜、陶芸品や、漬物などの直売もあります。

日程 4月29日（土）
10時 集合
15時 解散
場所 上総久保駅前
田んぼ

参加費 未就学児無料
小学生以上2000円
募集人員 先着150名
主催 加茂米販売実行委員会
連絡先 080 4152 3337 (ワタナベ)

【ホームページ】 【申し込み】